

ワンヘルス(One Health)を推進しています



閩企画振興課 企画係(Tel64-1504)

FUKUOKA ONE HEALTH

ワンヘルス(One Health =ひとつの健康)とは、人と動物の健康と、環境の健全性は1つのものと捉えて、みんなで守っていこうという考え方のことです。

みやま市では、令和3年9月に市議会で「ワンヘルスの推進に関する決議」が可決され、全国で初めて「ワンヘルス推進宣言」を表明し、ワンヘルスを推進しています。

みやま市の取り組み

環境保護(地球温暖化対策・資源循環のまちづくり)

バイオマスセンター「ルフラン」では、分別した生ごみなどを廃棄物として焼却処理するのではなく、メタン発酵させて、電気と有機質の肥料を作り出し資源として循環利用しています。

生ごみの分解時に発生するメタンガスは施設内の電力として活用し、発酵後の消化液は液肥として、市内の田畑に散布され、栽培された作物が食卓に並ぶという資源循環のまちづくりに取り組んでいます。



▲生ごみを分別し肥料にして利用



▲どうぶつ基金病院みやまの開院式

人と動物の共生社会づくり(地域猫活動の推進)

公益財団法人どうぶつ基金による、猫の無料不妊手術事業の会場として、本市の清掃センター内の事務所を無償で貸与するなどの支援をしています。

市内の動物愛護ボランティアグループが野良猫を捕獲し、獣医師が不妊手術とワクチンなどの処置を行い、その目印として耳をV字にカットして捕獲した場所に戻します。不幸な子猫を減らし、人と猫がお互いに生活しやすい環境づくりにつながります。

ワンヘルス実践の基盤整備(ワンヘルス教育の推進)

市内の小学校では、講師を招き、身近にある自分たちにできるワンヘルスについて考えるための学習に取り組んでいます。

昨年、市内の中学校では、校庭でヤギの飼育を行いました。生徒はヤギの生態や、天気・湿度などに応じた体調管理について学び、命の大切さを考える機会になりました。ヤギは、学校の草を食べてくれるだけでなく、生徒とのふれあいにより、学校全体を元気にしてくれました。



▲瀬高中学校に来たヤギとふれあう生徒

福岡県“One Health”国際フォーラム2022+FAVA

参加
無料

- ▶日時 ①11月12日(土)午後1時30分～4時30分 ②11月13日(日)午前9時～11時50分
- ▶場所 ヒルトン福岡シーホーク(福岡市中央区) ※ウェブでのライブ配信もあります。
- ▶内容 ①世界トップクラスの専門家による講演、坂上忍さん(俳優)をゲストに迎えた県民講座 ②分科会
- ▶事前に参加登録ができます。詳しくはQRコードを読み取りください



みやま市が13日(日)の分科会で市の取り組みを報告します

